

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| I. 理念に基づく運営 | 11 |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 2 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 6 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 11 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | 30 |

| | |
|-------|-----------------------------|
| 事業所番号 | 4671200378 |
| 法人名 | 有限会社 グッドライフ |
| 事業所名 | グループホーム てんとうむし |
| 訪問調査日 | 平成20年5月16日 |
| 評価確定日 | 平成20年6月16日 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島 |

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | |
|-------|------------------------------------|
| 事業所番号 | 4671200378 |
| 法人名 | 有限会社 グッドライフ |
| 事業所名 | グループホーム てんとうむし |
| 所在地 | 霧島市国分上井903番地2 (電話) 0995-47-4672 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島 |
| 所在地 | 鹿児島市真砂町34番1号南光ビル303号 |
| 訪問調査日 | 平成20年5月16日 |

【情報提供票より】(平成20年5月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------|--------|-----------------------|
| 開設年月日 | 平成16年7月5日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 9 人 | 常勤 | 7人, 非常勤 2人, 常勤換算 6.8人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|------|------|
| 建物構造 | 木造平屋造り | | |
| | 1階建ての | 1階 ~ | 1階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|-----------------------|----------------|----------|-------|
| 家賃(平均月額) | 36,000/42,000/48,000円 | その他の経費(月額) | 10,500 円 | |
| 敷金 | 有()円 | (無) | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有()円 | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 300 円 | 昼食 | 350 円 |
| | 夕食 | 350 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | | | 円 |

(4) 利用者の概要(5月1日現在)

| | | | | | |
|-------|----------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 9名 | 男性 | 2名 | 女性 | 7名 |
| 要介護1 | 0名 | 要介護2 | 1名 | | |
| 要介護3 | 5名 | 要介護4 | 2名 | | |
| 要介護5 | 1名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 86.2歳 | 最低 | 74歳 | 最高 | 95歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-----------------------|
| 協力医療機関名 | 福山病院・清水整形外科医院・愛歯クリニック |
|---------|-----------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは、開設者の住まいを改築した家庭的な建物で、周囲の田園風景に溶け込むようにたたずんでいる。手入れの行き届いた広い庭には沢山の花々が咲き誇り、一角には菜園も設けられており、季節を身近に感じることができる。ホーム名の「てんとうむし」には、背中の星をその方の感情や思いと考え、落ちてしまわぬようにとの深い思いが込められている。日々の生活にあまり大きな変化のないようにアットホームな関係を築きながら、入居者の皆さんが安心して暮らすことができるように、常に向上心を抱きながら熱心に取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回の評価で課題となった日常的な外出支援については、入居者の意向を取り入れつつ外出の機会を設け、ご家族や職員がなるべく一緒に戸外へ出られるように引き続き取り組んでいる。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 自己評価は、職員全員が項目別に担当しながら取り組み、ホームの責任者と管理者がまとめて上げている。外部評価の改善課題については、職員とともに意義を理解しながら積極的に改善に向けた取り組みを行っている。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 2ヶ月に1回の運営推進会議には、ご家族をはじめ公民館長・老人クラブ代表・行政担当者・栄養士など様々な立場の方が参加し、ホームの活動内容や今後の計画、外部評価の結果等について報告している。出席者からの質問や意見については丁寧に対応し、サービスの質向上に活かせるように努めている。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 運営推進会議へのご家族の参加に加え、花見の際に家族会を開催しており、より多くの意見や要望を聞くための機会を設けている。また、意見箱を設置し、ご家族と入居者に説明して活用を促している。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 中学生の職場体験を受け入れたり、自治会からの行事案内で情報を得て、地区の運動会や夏祭り等に参加している。また、農作物をご近所に配るなどして積極的に地域との交流を行うとともに、開設当初から週1回のゴミ置き場の清掃ボランティアを続けている。 |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | ”地域社会”を念頭に置いた法人理念をベースとして、法人名の「グッドライフ」、ホーム名の「てんとうむし」に込められた思いと、地域との関わりを大切にしたい独自の理念をつくりあげている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員の入職時に理念について説明し、月に1回開かれる職員会議では、理念に基づいた具体的なケアについて話し合っており、申し送り簿を用いて細かいケア方法の共有を図るなどして、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 中学生の職場体験を受け入れたり、自治会からの行事案内で情報を得て、地区の運動会や夏祭り等に参加している。また、農作物をご近所に配るなどして積極的に地域との交流を行うとともに、開設当初から週1回のゴミ置き場の清掃ボランティアを続けている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価は、職員全員が項目別に担当しながら取り組み、ホームの責任者と管理者がまとめ上げている。外部評価の改善課題については、職員とともに意義を理解しながら積極的に改善に向けた取り組みを行っている。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回の運営推進会議には、ご家族をはじめ公民館長・老人クラブ代表・行政担当者・栄養士など様々な立場の方が参加し、ホームの活動内容や今後の計画、外部評価の結果等について報告している。出席者からの質問や意見については丁寧に対応し、サービスの質向上に活かせるように努めている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|--|------|--|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市から介護相談員の実習受け入れの相談があり、要請に応じている。また、日ごろから現状報告や相談を密に行っており、市担当者がホームを訪れて入居者の暮らしぶりを見てもらうなど、サービスの質向上に共に取り組む関係が築かれている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 運営推進会議録と共に、ホームの活動状況や暮らしぶりを写真入りで配布しており、職員の異動状況も報告している。急を要する場合は、電話連絡している。金銭預かりはないが、物品購入時はホームが立て替え、請求書を発行している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議へのご家族の参加に加え、花見の際に家族会を開催しており、より多くの意見や要望を聞くための機会を設けている。また、意見箱を設置し、ご家族と入居者に説明して活用を促している。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 管理者は、馴染みの職員が対応することの重要性を認識しており、離職が最小限になるよう配慮している。職員交替があった場合も、新しい職員が入居者と馴染むまでは管理者と共にケアを行うなど、ケアの継続のために取り組んでいる。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部研修には、なるべく多くのスタッフが参加できるよう交替で参加し、ホーム内で報告会を行い、全職員が知識を共有できるようにしている。また資格取得についての情報を提供するなどして、職員の資質向上を支援している。研修内容や開催場所によって受講する職員を決めているが、段階に応じて育成するための計画は今のところ作成されていない。 | ○ | 人材育成には、現状でも十分に取組まれているが、職員の立場や特性、経験等の段階に応じた計画的な育成によって、資質の維持とさらなる向上に期待したい。 |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者が、始良・伊佐地区のグループホーム連絡協議会の役員を務めており、研修会や役員会を通じて他のホームの管理者と交流を凶っている。職員同士も見学や体験実習を実施して、サービスの質向上に役立てている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前に見学に来ていただいたり、職員が自宅や病院を訪問して面談し、納得した上でサービス利用が出来るように工夫している。入居後も、ご家族の面会や希望があれば外出・外泊を支援しながら、安心できるように配慮されている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 入居者の経験や知識を、ご家族や本人との会話の中から聞き取ったり、日常生活の中から発見して、生活の知恵を教えてもらう機会を多く作り、感謝の言葉を忘れないように努めている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ご家族や身近な方からの情報を得ると共に、散歩の同行やお茶を一緒に飲みながら、表出しやすい雰囲気作りに努め、行動や言葉から思いを汲み取り、日々の係りの中でケアに反映できるように取り組んでいる。入浴や食事の時間について、お茶を飲みながら入居者の意見を聞いている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人やご家族から思いや意見・要望を聴取し、その実現のためにカンファレンスを開き、職員からの意見を含めて、介護計画の作成を行っている。計画書は、本人、ご家族に説明して同意を得ている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | ご家族に会議出席を依頼したり、出席できない場合は電話で要望を聴取し、それらを取り入れながら状態の変化時や、定期的な介護計画の検討と見直しを行っている。見直した計画書についても、本人、ご家族に説明して同意を得ている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 入居者に限らず、地域の方々から要望があれば、介護用品や福祉用具の相談や購入に対して柔軟な支援がなされている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 基本的にはご家族同行の受診となっているが、不可能な場合は職員が同行するなど、柔軟な対応がなされており、月に1～2回の往診を受けられるように支援している。受診の際は、介護経過の情報を医療機関へ提供している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居前にホームの方針を十分に説明しており、病状の悪化等の変化に応じてご家族を交えて話し合いを行い、最善の方法が取れるよう努め、職員に周知して方針の共有を図っている。 | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 一人ひとりの誇りを大切に、プライバシーを損ねることがないように言葉かけには十分留意している。個人の記録は目につかないように保管され、職員は守秘義務に関する誓約書を提出している。経過記録等の個人情報の管理は適切に行っている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ホームの時間にとらわれずに、今までの生活リズムを尊重し、一人ひとりの状態や希望に合わせて食事や入浴、起床や就寝ができるように、柔軟に支援している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 入居者の希望を聞いて献立を作成しており、職員やご家族から差し入れられた季節の食材も取り入れている。個別の好みに合わせるため、メニューによっては代替品を準備している。盛り付けや準備は入居者も一緒に行い、穏やかな雰囲気の中で食事ができるように支援している。栄養士から食事に関するアドバイスを受けており、入居者の状態に合わせた食事の提供にも配慮している。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴は毎日午後からと決まっているが、季節や入居者の状態、希望に応じて、いつでも入浴できるように柔軟に対応している。入浴剤を使用して、気持ち良く入浴が楽しめるような工夫も行っている。 | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 訪問者への挨拶や地域の催しでの歌の披露など、できることや得意なことを把握し、力量を活かした役割の支援を行っている。地域の夏祭りでのカラオケ大会参加や地区のグループホーム大会で詩吟を披露する計画もあり、日々の生活が生きがいのあるものとなるように支援している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 日常の買い物は職員と一緒にっており、季節毎に行事計画を立てて、なるべく戸外へ出る機会を多く持てるように取り組んでいる。面会時にご家族と一緒に散歩に出かけたり、希望があれば墓参りやドライブ等にも出かけている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は施錠しておらず、センサーによるチャイムを活用して見守りの体制ができています。単独で外出された場合も想定して、日頃から近隣の方々に協力をお願いするなど、良好な関係づくりに努めている。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年に2回、消防署と近隣住民の協力を得て、通報・連絡・避難訓練などの具体的訓練を、昼間想定および夜間想定で実施している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|--|------|---|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 4ヶ月に1回、栄養士によりカロリー計算や味付け・メニューのアドバイスを受けており、個々の食事摂取量を観察して記録に残し適切に管理している。水分については、一日を通じて確保できるように目安を立て、摂取を促している。 | | 入居者の身体状態や気候に合わせた水分確保の支援を行うために、水分摂取状況を記録に残すなどして、職員間で情報を共有していただきたい。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| 木 | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 広々としたダイニングに、カウンターや和室空間が設けてあり、窓から眺める庭や田んぼの風景から、季節を感じながら心地よく過ごせる配慮がなされている。手入れの行き届いた庭には沢山の花々が植えられ、日よけの付いたテーブルとベンチも設けられており、自然を五感で感じながら過ごせる工夫が施されている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ベッドや家具・位牌・テレビ・植木鉢など、使い慣れた馴染みの物を持ち込んでいただいている。手すりの取り付け位置等を工夫して自立支援を行いつつ、思い思いの居室空間が作れるように配慮されている。 | | |